

キャラクター名 パスカーレ = カパーチェ・ミヌトーロ プレイヤー名 \_\_\_\_\_

種族	ノーブルエルフ	種族特徴	暗視、剣の加護/水の申し子、カリスマ、弱点(物理+2)		
生まれ	秘術師	性別	男	年齢	145歳
冒険者Lv	15	経歴	貴族として厳しく教育された		
経験点	8500		宮廷で噂になったことがある 異国を旅したことがある		

技	11	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	5	23		39	6				
体	3	敏捷度	5	17		33	5	セージ	13		
		筋力	2	12		17	2	グリモワール	15		
心	14	生命力	7	32	2	44	7	アリストクラシー	15		
		知力	12	57		83 + 3	14				
		精神力	8	43	2	67	11				

戦闘特技			
ルーンマスター	IB34 p	魔導書習熟S	AG37p
鋭い目	2120p	魔導書の達人	AG37p
弱点看破	2121 p	MP軽減/コンジャラー	IB33 p
マナセーブ	2123 p	魔法制御	IB32 p
マナ耐性	3144 p	魔晶石の達人	IB32 p
魔法誘導	IB32 p	ダブルキャスト	IB37 p
魔法拡大/数	IB39 p	キャパシティ	IB29 p
MP軽減/グリモワール	AG36p	ワードブレイク	IB33 p
魔力強化	IB32 p		p
魔法収束	IB39 p		p
魔導書習熟A	AG37p		p

言語	会話	読文
エルフ語	○	○
交易共通語	○	○
神紀文明語		○
ドラゴン語	○	
ドレイク語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔神語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	
リカント語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
気高き振る舞い	
意志持たぬ兵隊	
防御陣形	
高額支給	
硬い身体	
魚鱗の陣	
気高き振る舞いII	
熟練たる魚鱗の陣	
一騎当千の陣	
魔力暴走の陣	
鉄壁のファランクス	

技能	基本レベル	基本命中力	基本回避力	基本ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要			
		ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ミヌトーロスーツ		16		7
盾	リングシールド				10
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能				合計値	0 16

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マダレムジエン	1H	16		2d+ 0		0											
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	35 m	105 m

回避	防護点
2d+ 0	16

HP
98

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
操霊魔法	15	31			
秘奥魔法	15	32			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 33	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 24	2d+ 30

MP
169

装備品	説明
頭 叡智のとんがり帽子	マモチキ+2
耳 知性の魔紋	割る用 自動回復化
顔 イレブンレンズ	セージ判定に+2
首 イレブンアミュレット	HP回復魔法の回復量+2
背中 イレブンマント2	生命・精神抵抗・生死+2
右手 イレブン式知性の魔紋改一	イレブンシリーズ4つつけているので、生命・精神+2
腰 再生のベルト	
足 転移の靴	自身の移動力までの距離に補助動作で転送できる MPは移動mに成して消費 魔晶石不可
その他正しき信念のリング	

装備品	説明
左手 リングシールド	精神を防護点にして不可破の盾を展開する 盾を持っているこの効果は発動しない

その他メモ	自動失敗
イレブン傭兵団が時代を越えて最初に出会ったノーブルエルフ。未来について興味津々で、すぐに時空転移装置を使って飛ばそうとする程。蛮族だが、はぐれものであるヴェスコのことを気にかけている。ライフォス信者らしく調和を重んじ、時を隔てた未来では種族の隔りもなくなっているかと思ったが、結果を聞いて残念がった 自身の国の魔法王、イレブン傭兵団団長、別荘を作ったプローディ国王には概ね親近感を持っている。その中で本来の領地元の魔法王への忠誠心自体は普通である。礼儀作法については厳しく教育され、その事と異国を旅して作家をしていることから宮廷で噂になることも多い。領地の散策途中に保護したアルバルドをアルの愛称で呼び、従者として就かせている。反対に彼からは二人だけの時バスクと呼ばれている。実家そのものは騎士階級だったが、諸国を見聞し、内情を国に伝えた功績で男爵位を賜る。しばらく後、イレブンによって得た経験と知識を自領の繁栄に活かし、次は子爵位を賜る。最近では大幹部に昇格し、同時期に伯爵位に繰り上がる。通称ミヌトーロ伯爵 後に現代の知識を勉強する為、王国の内政担当最高幹部フェデリコに師事している	チェック □□□□⑤ □□□□⑩ □□□□⑮ □□□□⑳ □□□□㉑ □□□□㉒ □□□□㉓ □□□□㉔ □□□□㉕
作家レベル15	

